

申請団体のデータ（グループ名簿、助成金要望額内訳は割愛しています）

No.3／「大沢の宝」つなげ隊 **継続 3年目**

グループ概要

結成年月 H28. 5
構成員数 7名（50歳以上7名）
活動市町村 茅野市
代表者 小林 勝広（68）

【事業名】

「地域の宝」発掘・保存・活用による地域のよさの再発見事業

【事業の種類】

・その他、中高年グループが主体となった地域づくり・社会貢献活動

【これまでの活動内容】

1. <社や社周辺の整備及び案内表示設置>手を入れなければ誰にも知られない忘れ去られる社になる可能性大であったが、改修することにより道路からも見え、地域住民が目にするようになった。
2. <お宝マップづくり>PTAや子供会育成会と連携して地域の知られざる宝を学ぶ機会を持ったことは、子ども達が地域の良さについて自覚するとともに保護者および参加した区民が地域について再発見することになり、この地に生活する良さに気づく機会となった。

【事業の目的】

地域住民が地域の良さを実感することを目的とする。そのためには共に関わって活動したり世代間の交流を図り地域住民が互いにかかわりを持ったり、活動を通して仲良くなったりする取り組みをする。それを通し、若者とりわけ子どもたちが地域の良さを体感し、将来この地で生きようとする原体験となり、持続可能な地域を作ることができる。
その実現を目指し、人と人とが支え合う活動を創り出すための「地域の宝の発掘・保存・活用」の活動を進める。

【今年度の事業計画】

1. お宝を記した大沢地区内のパンフレットを作り（再調査2回、制作2回、校正2回）昨年子供会を中心にした活動で模造紙に原案をまとめてある。そこに今年度調査した項目を加えお宝パンフレットを作成し、各戸に配布する。（諏訪考古学研究会に講師派遣依頼）
2. 武田信玄が堀った金鶏金山の調査・保存・活用（現地調査2回、整備2回、マップ作り2回、区民対象見学会1回）（諏訪考古学研究会に講師派遣依頼）
 - (1) 現地を調査し保存状況や既に設置されている看板等の様子を把握する。
 - (2) 必要な補修作業をし案内表示等を設置する。
 - (3) インターネットからの地図や必要に応じてドローンを使い全体像を把握し、マップを制作する。
 - (4) 茅野市観光課・都市計画課等と連携し、見えづらくなっている大看板の改修やトイレ等の設置等の検討をする。
3. 大沢区内で新たに整備が必要なところや見学のための駐車場について整備をする。（2回）（整備のための重機を依頼）

【将来計画】

<3年目の事業計画>

・武田信玄が堀った金鶏金山の調査・保存・活用

- ①保存・活用の検討
- ②遊歩道等の整備
- ③トイレ等の設置が可能な検討
- ④マップの作成と活用

<将来計画>

- ・風景や伝統文化、歴史等有形無形にかかわらず新たな「お宝」の発見に努めるとともに、それを保存し活用する活動を続けて行く。
- ・地域の良さを伝えられる案内人を子供会育成会・PTA・区会等と連携して育てる。地域を学びながら伝えることのできる人材の育成に努める。
- ・整備した「お宝」を今の状態で保てるよう区民に協力を依頼し、草刈り等の作業を継続する。

【事業実施により地域に期待される効果】

1. <知る>
今まで気づけなかった地域の宝がこれほど豊かにあることを知り、地域の良さに目が向く地域住民が育つ。
2. <集う>
同じ地域に住みながらも普段なかなかかわりを持てない住民が、同じ目的を持って活動することにより共通の会話が生まれ仲良くなる。
3. <愛する>
地域の良さに気づき、地域を愛する住民が育つ。特に子供会育成会やPTAと連携して活動することにより、自分の住む地域に関心を持ち進学等でこの地を離れても故郷を思い、いつか帰ってきてこの地を大切に活動を引き継いでいってくれる人材が育つことを期待している。